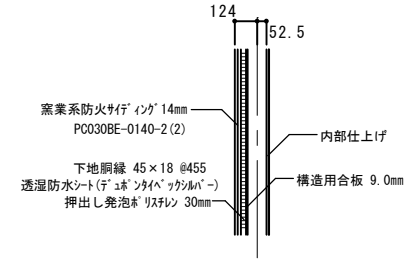
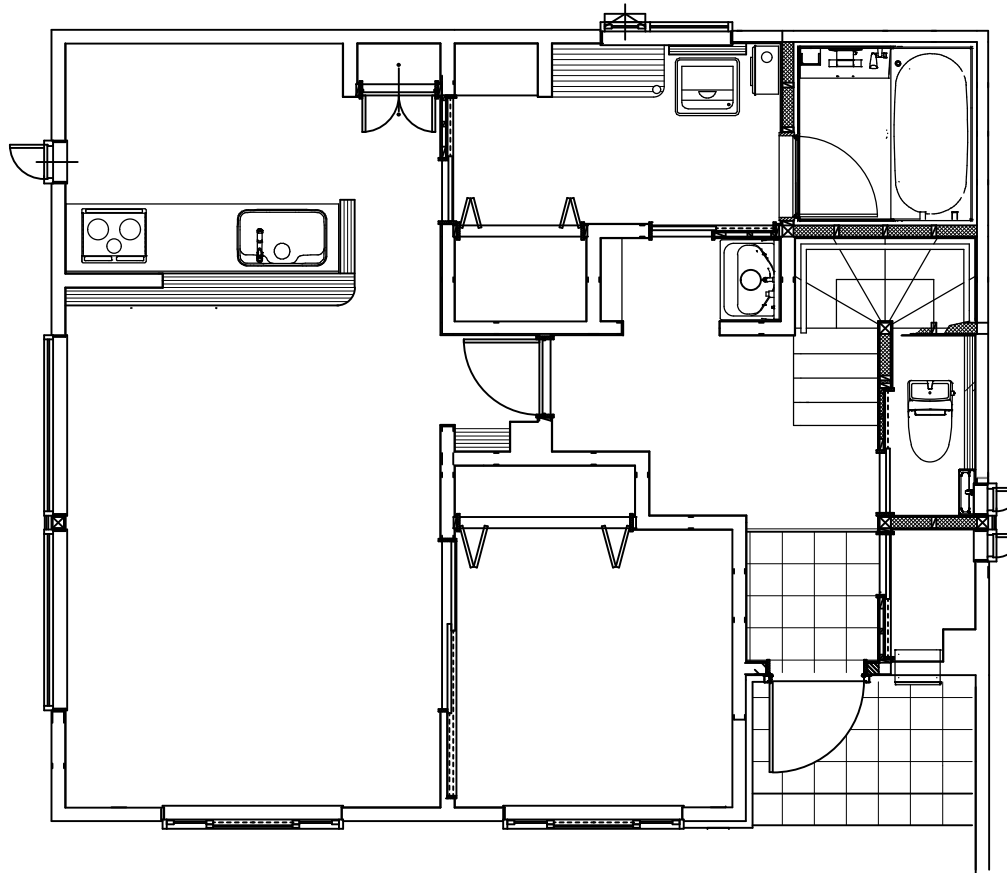


建築面積：8.645 × 7.280 = 62.94㎡

床面積：8.645 × 7.280 - 2.275 × 1.365 = 59.83㎡



凡例	
	柱を示す（又は管柱：金物補強） 各仕口、継ぎ手類は（告）第1460号に基づいて施工する。 コンクリート天端より上方 1.0m 及び水廻り下地の 木材は、防腐剤塗布とする。（非ケロリビホス使用）
	柱脚 ◁ 筋カ 45 × 105 シングル
	筋カ 45 × 105 タスキ
	上段=天端高さ、中段=サッシ寸法、下段=ガラス種別 特記なきは透明硝子
	外壁：マグロロライト t105吹込（6W吹込み） （密度22kg/m ³ ）（0.038W/m ² K） 付加断熱：押出し発泡スチレンボード t30
	内壁：マグロロライト t105吹込（6W吹込み）外壁に同材料
	天井点検口：450角（24時間換気扇下） 天井点検口：450角（小屋裏）
	レジスター換気口 アルミセルフフードφ100
	換気扇 アルミセルフフード付き （レンジフード部分はスパイラルダクトφ100）
	換気排気口を示す
	換気給気口を示す
	床ガバリ位置を示す
	ドア下アンダーカットを示す 引き戸は不要 （アンダーカットH=10以上）
	ボイラー 給湯、暖房共都市ガス：エコジョーズ
	パネルヒーター（別紙）
	転倒防止処置 満水時の質量が15kgをこえる給湯設備は 国土交通省告示による転倒防止処置をおこなう
	住宅用火災警報器（熱感知式）（検定品） 住宅用火災警報器（煙感知式）（検定品）
※換気扇（レンジフード）及び湯沸器の排気管の 天井裏部分については、Ryokan t=25、 可燃物に接する場合はRyokan t=50巻きとする。	
上水道は、上水道本管より引き込み 下水道は、下水道本管に接続 トランプについては、排水深さ5~10cm有す 給湯管について：架橋ポリエチレン管（一部銅管） 給水管について：（屋内）架橋ポリエチレン管（一部銅管） （屋外）ポリエチレン管	
給・排水設備配管点検：階下天井点検口による ● 水抜き栓位置 ○ 排水口位置	

T : トランプ清掃可能を表す
 排水管の清掃：排水管の点検、清掃が行えるよう掃除口又は
 清掃可能なトラップを設ける事
 配管点検口の設置：次の部分が隠蔽されている場合は
 点検、清掃用の開口を設ける
 □：設備機器と排水管、給水管、給湯管の接合部
 ○：排水管、給水管、給湯管、ガス管のバルブ及びヘッダー
 △：排水管の掃除口